

大阪府市場だより

第332号

(令和元年10月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「トマト」磯野 由美（磯丸運送）

市場開放デーの成功を！

定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が10月15日8時15分から、管理棟4階会議室で開催された。山口秀雄議長（府市場管理センター（株）代表取締役）の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、市場開放デー実行委員会の細田喜代司委員長から、「委員の皆様にはアイデアを出していただき趣向を凝らして、来場者の皆様にお楽しみいただけるよう準備に拍車をかけているところでございます。昨年と同じ会場レイアウトで、お買い物や阿波踊りなどで混雑することのないよう配置しました。大分市など出店していただけたところは拒まず歓迎し、食育コーナーなども広くスペースを確保しました。事故が起こらないよう安全に配慮しながら、市場まつりが盛況のうちに、来場者の方々にお買得感、満足感を感じていただき、身近に市場を感じていただけるよう、皆様の一層のお力添えをお願いします」と挨拶された。山口議長は、「よろしくお願ひしたい」と述べられた。

議題2、大阪府の上岡次長から次の項目について報告があった。①運営取引業務協議会並びに活性化協議会が、11月25日に大阪キャッスルホテルで開催（これに伴い、11月の常駐代表者会議は11月21日）②市場全体の4〜9月分取扱高（速報値）は約11万5千トンで42.7億円。金額ベースの前年度対比は約14.6億円、3.3%減。直接集荷販売額4〜9月分（速報値）は約46億円、前年度比は約3.1億円、6.3%減。③仲卸事業者に対する定期検査として、業務・会計・直接集荷について18社に対して検査を行う。④盗難事故対策として、市場管理センター・市場協会の三者で、(株)北部市場運送に対して市場への開口部からの進入ができない措置をとっていた。⑤盗難対策として、チェーンとバリケードにより侵入経路を封鎖いただき対応していただいた。議題3、管理センターの宮前統括から2ページ通じり報告があった。

東野青果卸売協同組合理事長が、台風19号に関して、青果大通りのシャッター（大果の入り口とみくりやの出口）は上げ下げできるようにしてもらいたいと要望された。山口議長は府と管理センターに検討してみてくださいと述べられた。宮前統括は府でその

ための見積もりをしていただくことになっていると述べられた。また、東野理事長は、市場開放デーに協力していただける人が年々少なくなってきたこと、有料ボランティアで協力いただいていると現状を説明され、榎本水産物卸協同組合理事長も同様だと述べられた。多くの方の協力をお願いしたいと依頼された。

議題4、(一)計量部会の三木部会長から、10月実施の水産物卸協同組合の事業に対する検査結果を報告された。(二)福利厚生部会の小笠原部会長から、ソフトボール大会の結果報告と文化祭とゴルフ大会の開催が案内された。

船木場長は、「台風19号は関西は直撃を免れたが、東日本中心に甚大な被害が出ている。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げ、一刻も早い回復を願っている。農地がかなり被害を受けており、産地からの食材の調達も気になる場所がある。埼玉の浦和市場も浸水し食材が大変被害を受けている。当市場に関しては、建替えに向けた財政当局に対する予算折衝というところだが、しっかりと防災という観点を主張しながら臨んでまいりたい。11月10日の市場開放デーについては、皆様のご協力とご尽力にお礼申し上げる。くれぐれも事故のないよう無事に成功裏に終わることを願っている。引き続きご協力の程お願ひ申し上げます。9月議会は、大阪維新の会の議員の視察を受け、高槻の池下議員が環境農林水産常任委員会で明日質疑が行われる予定でその概要についてはご報告させていただきます。今年度も下半期に入ったが引き続き円滑な市場運営にご協力をお願いしたい。」と述べられた。



府市場活性化事業

府市場では、市場活性化事業として、場内の卸や仲卸会社とともに、産地や量販店、事業連携している大学などの協力により生鮮食品の消費拡大キャンペーンや食育事業を展開している。また、提携大学の学生に実学の場を提供している。

◆松坂屋高槻店×追手門学院大学 ◎「大阪産(もん)大集合」で水産物のPR

10月2日から8日まで、松坂屋高槻店で大阪府主催の「大阪産(もん)大集合」のイベントが行われた。新鮮な農水産物や銘菓など、大阪の「いいもん・うまいもん」が味わえる催しで、今回は初の百貨店食料品フロアでの開催で、催事スペースでの出展のほか、鮮魚・青果・菓子・総菜など各コーナーでも、大阪産(もん)が販売され、実際に見て、触れて、味わうことが出来る絶好の機会となった。期間中、追手門学院大学の学生が「魚くみ」の店頭で大阪産(もん)の水産物をPRした。10月5日には大阪府広報担当副知事の「もずやん」、大阪府鯉巾着網漁業協同組合のマスケット「いわしきんちやくくん」、高槻市のPRマスケットキャラクター「はにたん」、そして府市場のマスケット「せりちゃん」が勢揃いし、来場者に大人気でした。



◎マクロの解体で解説トークショー

9月14日に、同店で長崎県産の60キロのマクロの試食・即売が行われたが、この解説に追手門学院大学学生がその解説を行い人気を呼んでいた。マクロは瞬く間に完売となった。協力・(株)魚組、松坂屋高槻店、追手門学院大学、府市場管理センター(株)



◆大阪成蹊短期大学×JA全農岐阜

9月6日に、シエカワカミ彩都店において、同短期大学栄養学科の2回生2名が、同短期大学とJAひだで考案したトマト、ほうれん草のレシピを活用し、消費拡大のPRを行った。当日は、JA全農岐阜、JAひだの方とともに、岐阜の主要産物である「飛騨トマト」、「飛騨ほうれん草」の試食・販売を行った。学生が実際にスーパー店頭で試食品を提供し、消費者の反応を見たり、試食の感想を聴いたりすることは、普段経験できないことであり、学生にとっては貴重な体験の機会となった。府市場では、今後とも産地等の協力をいただきながら、学生の皆さんに食材を身近に感じていただくよう交流することにより、食に関する人材の育成と合わせ、市場の活性化を進めている。協力・JA全農岐阜、JAひだ、シエカワカミ彩都店、大阪北部中央

いわてりんご「赤い誘惑」

J A岩手ふるさとがトップセールス

J A岩手ふるさととのトップによるりんごの独自ブランド「ジョナゴールド」「赤い誘惑」のトップセールスが、10月11日午前7時に、府市場の大果大阪青果(株)の果実売り場において、J A岩手ふるさととの代表者である経営管理委員会の後藤元夫会長をはじめJ A全農いわての皆さん一行が来場して開催された。J A岩手ふるさととの後藤会長が、「今回ジョナゴールド」「赤い誘惑」のトップセールスで来場しました。園地を挙げて目いっぱい出荷しますのでたくさんご賞味いただき、ご愛好いただけたいと思います。産地より思いを込めて赤い箱に入れています。た。よろしくお願いします」と挨拶。同行した「いわて純情むすめ」の瀬川さんも、「雨にも負けず風にも負けず育ててきたりんごをよろしくお願いします」とPR。東野達雄府青果卸売協同組合理事長が、「日ごろ、大果大阪青果さんを通じて数多くのりんごをお礼申し上げます。先ほど試食しましたが、身のしつかりした素晴らしいりんごをありがとうございます。今年もぜひ力を入れていただき完成したいと思えます。生産者の皆様がこのようなりんごを来年もまた作ろう、

また大阪北部に送ってあげようという気持ちになっていただければ幸いです」と述べられ、大果大阪青果(株)の酒井孝博支社長は積極的に販売したいと歓迎の挨拶を述べられた。この「赤い誘惑」は透過光品質センサー選果というシステムで厳選されたもので、土づくりや剪定から、生産者がひとつひとつ丹精込めて作ったりんご。セモノー後の試食では、仲卸の皆さんが「酸味とシャキシャキ感があつておいしい」と口々に述べられ、好評だった。



管理センターからの報告(警)

宮前統括から報告のあった主な項目は次の通り。
■台風19号被害状況▼青果卸棟3階A1コア廊下天井等5カ所において雨漏り↓緊急修繕依頼済み
■活性化事業▼ハード整備◆水産仲卸売場の低温管理に向けての取り組み、基本計画策定(H30/12)↓府において実施手法の検討、財源協議予算要求作業(11月)↓財源確保↓実施設計↓施工◆LED照明器具への転換(9/26完成)▼青果・水産買荷保蓄積込所他照明器具改修工事↓LED台数(180台)▼青果水産大屋根水銀灯他改修工事↓

LED台数(156台)非常用照明含む。累計2,432台(H24)▼ソフト事業◆徳島「うまいんじ」徳島フェア(10/16)▼22)松坂屋高槻店×追手門学院大学×市場徳島の食応援プロジェクト店頭PR(10/16、10/19)▼食育教室▼さつまいも収穫祭10/28(5/20に定植)寝屋川旭学園第二幼稚園見、保護者150名程度協力・徳島県JA大津松茂(キッチンカ)、北果
◆維持補修事業(税抜)▼実績(10/14)123件、3,150万円▼工事中事業▼水産仲卸A・B、青果仲卸A棟スプリンクラー修繕工事など▼大阪府依頼事業▼冷蔵庫棟屋上冷凍冷蔵設備改修工事、約5千万円↓業者選定中↓10月発注予定
◆ごみ関連▼不法投棄件数9月10件▼対策前比(約)92%減少▼青果みず排出状況(▼は対前年比)▼9月単月実績▼排出量約45トン(+2トン、+5%)▼処理費用(税込)約87万円(+4万円、+5%)▼9月までの累計▼排出量約432トン(▲61トン、▲12%)▼処理費用約841万円(▲119万円、▲12%)▼ガラス対策▼ガラス捕獲業務(10/14)4回28羽▼次回10/30予定▼禁煙対策(10/14)▼禁煙指導▼通告書交付(違反者186件人)、うち場外46件人▼警告書交付(再違反者)19件人▼更に累犯で入場禁止▼市場施設等整備構想策定検討委員会▼青果分科会▼第6回分科会開催(7/22)▼水産分科会▼第6回分科会開催(10/15)▼整備構想策定に向けての基礎調査の実施(年度内)▼場内関係者のニーズ調査等(コンサルによるアンケート調査等)▼整備構想案策定R2年度▼商品窃盗事件統括(捜査中)▼青果側外周道路路北部市場運送開口部の管理体制の強化申し入れ(9/18)↓事業者によりチェーンとバリケードによる遮断措置済み▼「魚租問題事業者」の動向↓1週間の入場禁止措置後、数回入場するも重大な違背事象なし(直近10/12)▼新たな製氷装置設置▼製氷機メーカー(アイスマン)と協議中▼旧ごみ中間処理施設で事業者の負担による整備検討中(年度内完成)

第3回市場開放デー実行委員会を開催

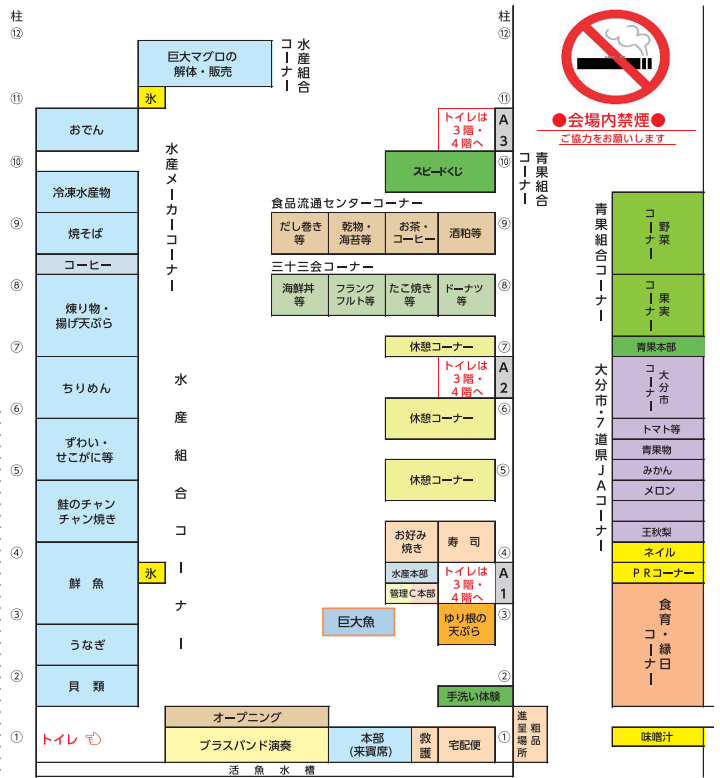
市場開放デー実行委員会(細田喜代司委員長、府青果卸売協同組合副理事長)は、10月18日に、警備関係者を加えた第3回委員会を開催した。



細田委員長が、「いよいよ開放デーが近づき、今回は最終の会議となります。確認作業を行っていただし、この機会に忌憚のないご意見をおねがいしたい」と挨拶ののち、各項目について協議が行われた。

コーナーの近くに三十三会館コーナーを移動し、食流センターコーナーと入れ替えることになった。また、会場内の全面禁煙や、M2及びM3の出入り口は立入禁止とする。ともに、会場マップに水産棟西側のトイレ表示を行うこととなった。応援業務についてお願いするとともに、会場マップをポスター台に拡大し、休憩コーナーの看板等来場者の皆さんがよく見えるわかりやすいところに掲示することになった。次に、駐車場の確保については、立体駐車場の1階のお客様駐車場のほか、1階の契約者駐車場についても事業者の皆様にご協力をお願いすることとした。

市場開放デー会場マップ (8時30分～12時)



衛 検 だより 停電時の食中毒に注意！ 食品衛生検査所

先月、台風15号が関東地方を襲い千葉県では長時間の停電や断水などの被害が起きました。昨年9月には台風21号の暴風により近畿地方が被害を受け、長時間の停電が発生しています。停電時は食中毒が起きやすくなるのを知っていますか？

電気が止まると冷蔵庫や冷凍庫の庫内温度が上昇しそれに伴って細菌が増殖し始め、食中毒の危険性は高くなります。2000年6月、近畿地方を中心に大手乳業メーカーの低脂肪乳等を原因食品とする食中毒が発生

し、患者数が1万人を超えるという戦後最大の大規模食中毒事件となりました。低脂肪乳等の製造に使用する脱脂粉乳が、病原菌である黄色ブドウ球菌の産生するエンテロトキシンという毒素に汚染されていました。原因は、脱脂粉乳の製造時に工場で停電事故が発生し、原料の生乳が異常な温度帯に長時間滞留したため黄色ブドウ球菌が増殖し、毒素が産生されたためでした。(毒素は熱に強いので、その後の加熱工程では失活しません。)

食品取扱業者の方は日頃から庫内温度の記録を残し、万一の停電時には温度の上昇について注意を払い、安全性が確認できない食品については販売や調理等に使用せず廃棄してください。生食用のものは加熱用にするなど対応が必要で、問題を起きた時の対処の方法を事前に決めておくことも重要で、このような対策が、HACCPに沿った衛生管理の一環でもあります。

今年3月に、水産物卸協同組合員の方を対象としたHACCPの導入を支援する研修会を開催したところですが、参加されなかった方々を中心に、個別に訪問して概要等の説明をする予定です。今回対象ではない方でも不明な点等あればお気軽に検査所職員にお尋ねください。

小笠原幹事の議事進行のもと、前回の協議結果を取りまとめた「各団体の要望のまとめ」が提示され、これをもとに協議が行われた結果、①仲卸用の加工場出荷スペース、店舗等は1階にすることで取りまとめる、②ハザップの配慮、③台風19号による関東の災害を踏まえ、防災防水の観点を考えることなどが決められた。小笠原部長は、今回の協議を反映した内容を取りまとめて、次回協議に提出し、成案とすることを提案され、了承された。宮前

第6回水産分科会を開催

市場施設等整備構想策定検討委員会(幹事長:宮前管理センター統括)の水産分科会(幹事:小笠原うち支社長)が10月15日に、宮前幹事長や船木場長が出席し、管理棟4階会議室で開催された。

「その他の要望事項」として「①事業者の事務所の集約」各事業者の事務所はなるべく近い場所に集約し、敷地を有効に活用する、②クリーンエネルギーの活用、③荷役車両の電動化施設、④発電の設置、⑤市場関係者の労働環境改善、⑥厚生食堂の拡充、⑦託児所・体育館の設置等の検討、⑧市民への市場開放など」がまとめられている。



幹事長から、「次の段階として、コンサルを入れて周辺市場の動きも踏まえて基礎調査を行う。このため事業者の皆さんのニーズ、ご意向調査を行い、来年度につなげていく」との説明があった。なお「各団体の要望のまとめ」内容は「基本施設の設計に関する要望」として「①せり場、仲卸売場、仲卸加工場、荷捌き場も含めた全体を一つの閉鎖型低湿施設に収容し、ゴールドチェーンの確保を図る。一つの施設の中で、用途に応じて異なる温度設定が可能な設計とする。②施設内の仕切りはなるべく減らし、人車両の移動がしやすい設計とする。作業のしやすさを、買物のしやすさを第一とする。なお、完成後も使用上の利便性に応じて随時追加工事が可能な設計としたい。」

華やかに文化祭を開催

府市場協会福利厚生部会(部長 小笠原元功(株)うおいち支社長)が主催する恒例の文化祭が、10月17の両日、管理棟7階で開催された。72人の方から、約2000点の

作品が出品され、120人の来場者からは、すばらしい作品の数々に、賛嘆の声が聞かれた。

文化祭は、余暇を活用して作り上げた絵画、書画、彫刻、写真、手



浜本佳代子さんのつまみ細工



入江美佳さんの「ミニチュア八百屋さん」



城戸亜紀子さんの切り絵



船木場長と山口社長

工芸、陶芸などの作品を発表・展示する場として開催され、今年で40回目を数える。

今回も来場者にお気に入りの3作品に投票していただいた結果、投票の多かったつまみ細工の浜本佳代子さん(府市場管理センター(株))、

「ミニチュア八百屋さん」の入江美佳さん(大果大阪青果(株))、切り絵の城戸亜紀子さん(食品衛生検査所)の3人には、10月23日に、小笠原部会長から賞状と副賞が授与された。なお、城戸さんは副賞を辞退された。

大阪府青果卸売協同組合のゴルフコンペ結果

○果実部第29回ゴルフコンペ

10月2日に東条の森カントリークラブで37名が参加。優勝…吉川生(株)かねますフルーツ、準優勝…小野良彦(株)北部ヤング、3位…佐野達哉(株)北部松村商店)

○野菜部第7回ゴルフコンペ

10月9日にチェリーヒルズゴルフクラブで35名が参加。優勝…辻本薫(北新青果(株))、準優勝…西尾巧(株)林田商店、3位…松嶋優明(堀心青果(株))

大掃除を11月8日に実施

計量器定期検査が始まる

市場協会計量部会(部会長 三木博司大阪北部中央青果(株)社長)では、今年度はじめの計量器定期検査が府水産物卸協同組合の事業者を対象に、10月8日朝6時30分から10日まで、府市場協会所属の信岡洋計量士によって、同組合事務局の協力のもとに実施した。

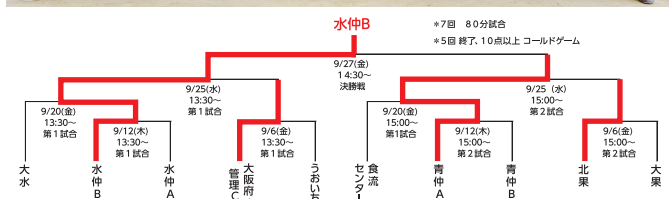
127台の計量器を検査し、124台が合格し、不合格の3台については、修理や廃棄をしていた。後日、11月28日に、卸の大阪北部中央青果(株)、大果大阪青果(株)、うおいち、(株)大水、(株)北部冷蔵サービスセンター、三十三会に対して予定されている。

卸売業者取扱高(令和元年9月)		大阪府中央卸売市場			
卸売業種名	種類	数量(トン)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果	野菜	10,121	110.4	2,143,556	92.9
	果実	3,694	90.9	1,495,954	95.4
	小計	13,816	104.4	3,639,510	93.9
水産物	生鮮水産物	1,612	88.9	1,483,660	94.1
	冷凍水産物	322	139.0	288,321	105.4
	加工水産物	986	94.0	935,448	89.9
	冷凍食品	309	89.6	157,611	93.2
	小計	3,229	93.9	2,865,040	93.6
卸売業者計		17,044	102.2	6,504,550	93.8

開場日数 9月 令和元年及び平成30年 21日



賞状授与後の記念写真: 右から、浜本さん、小笠原部会長、入江さん、城戸さん



水産物卸協同組合Bチームが優勝

10チームの参加により9月5日から開催されたが、今年は降雨による再試合が1日だけで晴天に恵まれた。事前練習を重ねたチームもあり、力の入った戦いを繰り広げた。

優勝: 水産物卸協同組合Bチーム

監督: 濱名清、主将: 渡辺健二、選手: 伊達宏幸、西川伸一、林隆史、多田寿恵広、杉江樹一、村井祐介、村井けいた、堀池ともや、松谷泰二郎、増田治、坂下和己、此枝佳恵

準優勝: 青果卸売協同組合Aチーム

監督: 阪口充、主将: 下井康裕、選手: 長谷川琢也、石原恭平、柱谷文彦、坂本勉、山田怜司、土居 頌二、松田昌博、谷口 智計、三浦蓮、内山友貴、片岡秀平

審判: 柳川一秀(うおいち北部)、壘審: 橋本航(北果)